

## 医療人のための日本語

責任者・コーディネーター	人間科学科文学分野 平林 香織 教授		
担当講座・学科(分野)	人間科学科文学分野		
担 当 教 員	平林 香織 教授		
対象学年	1	区分・時間数	講義 12時間
期 間	前期		

### ・学習方針（講義概要等）

全人的医療を行うための、日本語の基本的な使い方、及び、医学用語や医療語彙の背後にある日本語の背景を学修する。「誠」の字義を正しく理解し、120年の歴史的背景のなかで培われた建学の精神とその根幹をなす「誠」の理念に深く思いをいたし、医療者を志すものとしての、正しい日本語の理解と使用のための精神と技法を身につけるための要件を修得する。日本語の待遇表現の背景にある日本文化の精神性や倫理性をふまえ、謙虚な態度で正しい様式に則った書簡を書くための技法を学ぶ。身体や病に関する日本語の歴史的文化的精神的背景を理解し、わかりやすく深い日本語の使い手としての医療人を志す修練方法を会得する。

### ・教育成果（アウトカム）

建学の精神を理解し、「医療人たる前に誠の人間たれ」という学是の内実を理解し、「誠の人間」としてのビジョンを持つ。医療人として正しい日本語を使うことの意義を理解し、日本語の文字や語彙の背景である歴史や文化をふまえた正しい日本語を身につけるための修練を行う。思いやりの精神に基づく心のこもった書簡文を正しい様式で書くことができる。身体や医学に関する用語の背景にある漢字文化の歴史的文化的精神的背景を理解することができる。（ディプロマ・ポリシー：1.4.5）

### ・到達目標（SBO）

- 1) 建学の精神の内実を具体的にわかりやすく説明できる。
- 2) 「医療人たる前に誠の人間たれ」という学是に即した自己の医療ビジョンを正しい日本語で記述できる。
- 3) 正しい様式に則った読みやすく心のこもった書簡を書ける。
- 4) 身体用語・医学用語の歴史的文化的精神的背景を説明することができる。

【講義】

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	講義内容/到達目標
6/8	木	4	人間科学科 文学分野	平林 香織 教授	誠学 1.「誠」の字義について理解し、建学の精神について説明することができる。 2.自己の医療ビジョンについて学是に即して正しい日本語で記述することができる。
6/15	木	4	人間科学科 文学分野	平林 香織 教授	待遇表現について 1.日本語における待遇表現の歴史的文化的背景を説明することができる。 2.自己の誤った待遇表現に気づくことができる。
6/22	木	4	人間科学科 文学分野	平林 香織 教授	書簡文について 1.書簡体独特の日本語の使い方を身につける。 2. 書簡体の様式の背景にある日本文化の精神性について説明できる。
6/29	木	4	人間科学科 文学分野	平林 香織 教授	書簡を書く 1.正しい日本語でわかりやすく心のこもった書簡を書くことができる。
7/6	木	4	人間科学科 文学分野	平林 香織 教授	身体用語 1.身体に関する語彙に用いられる漢字や日本語の歴史的文化的背景を説明できる。 2.身体に関する故事成語やことわざの意味を理解し、正しく読んだり書いたりすることができる。
7/13	木	4	人間科学科 文学分野	平林 香織 教授	病の用語 1.病に関する語彙に用いられる漢字や日本語の歴史的文化的精神的背景を説明できる。 2.病に関する故事成語やことわざの意味を理解し、正しく読んだり書いたりすることができる。

7/14	金	2	人間科学科 文学分野	平林 香織 教授	医学の用語 1.医学に関する語彙に用いられる漢字や日本語の歴史的文化的背景を説明できる。 2.医学に関する故事成語やことわざの意味を理解し、正しく読んだり書いたりすることができる。
7/19	水	4	人間科学科 文学分野	平林 香織 教授	医療人としての表現 1.医療従事者による表現の特徴を理解することができる。 2.人体や病態への理解に支えられた正しくわかりやすい文章を書くことができる。

・教科書・参考書等

教：教科書      参：参考書      推：推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
参	小説の処方箋	大本泉他編	鼎書房	2011

・成績評価方法

毎回のワークショップの態度（15％）と、前回の内容に関する小テスト（60％）、レポート課題（25％）により総合的に評価する。

・特記事項・その他

本コースでは、一般的な講義に加えて、能動的学修方法として、ペア・ワーク、グループ・ディスカッションやiPEG等を行う。

事前学習として、あらかじめ講義内容を確認し、トピックに関する情報をインターネットで検索したり、辞書で確認したりしておくこと。事前学習にはおよそ30分を要する。

小テストは採点后、正答率の低い問題を重点的に解説し、提出されたレポートは採点后、コメントを付して返却する。

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	ノート型 P C Panasonic CF-RZ5	1	講義資料の提示
講義	エルモ書画カメラ	1	講義資料の提示
講義	CD プレーヤー	1	講義資料の提示
講義	BD/DVD プレーヤー Logitech LBD-PUB6U3VWH	1	講義資料の提示
講義	デスクトップパソコン (DELL Precision T3500 カスタマイズ)	1	講義資料の提示